

私は帯広の建設コンサルタントに勤務しており、主に構造物関係の設計を行っております。17年前に入社した際には会社のメイン業務が道路関係で、河川関係の業務を余り行っておりませんでした。入社4年目に河川部の立ち上げメンバーとなり、紆余曲折あって今では自分が建コン登録の技術管理者となって年間数本の河川関係の業務を実施している現状に感慨深い物があります。

私が生まれたのは釧路市で小学生からは音更町で育ちました。幼い頃から父親(普通のサラリーマン)の手伝いで井戸を掘ったり畑を開墾していたこともあり、何となく土木に興味があったのか大学は室蘭工業大学に行きました。大学時代は熱心に勉強しない学生でしたが、4年間みっちりアメフト部で過ごした際に身に付いた体力と根性と集団生活の術は今の生活にとっても役立っています。そして、会社に入ってから大学で勉強をしてこなかったことが祟り、復習を余儀なくされています。

技術士資格は3年前に取得しました。それまでを振り返ると行政情報や公益確保をまるで考えたことのない怪しからん土木技術者だったわけですが、資格取得をインセンティブとして土木技術者として成長できたと思います。また、課題解決能力がアップしたことで実務のスピードが格段に上がりました。

今、夢中になっている趣味はドローンによる空撮です。DJI社のMavicAirを個人所有しており、もうひとつの趣味の長時間散歩と併せた身近な空撮は素晴らしく楽しいです。便利過ぎて仕事でも使えるように会社と同じモデルのドローンを買って貰いました。最近ではオルソ画像や3Dモデルも案外簡単に作成出来ることが分かり楽しみが増すばかりで、毎日に感謝し今日もプロポを握っております。

## 西田 光 (にしだ ひかる)

●建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

### 勤務先

株式会社土木技術コンサルタント  
技術部



→次号は、山田昌義さん(建設部門)

私は砂川市で生まれ、測量士を目指し当時の北海道測量専門学校(現在はありません)を卒業し、測量技術者として「頑張るぞ!」と意気込んで1985年(昭和60年)に旭川の測量会社へ就職しました。入社後は測量現場もやりながら護岸設計や樋門設計の補助的な作業を行い、たくさんの河川構造物設計のノウハウを先輩技術者から教わりました。その後は管理技術者として河川構造物設計など様々な仕事に携わりましたが、当時は休日出勤や残業など大変忙しく、心が折れそうになった時期もあったことが今では良い思い出のひとつです。

30年働いた測量会社を退職した後、2013年(平成25年)に現在の及川土木設計へ入社し河川構造物の設計に従事、周りの技術者の影響も受けて、「やっぱり技術士の資格が欲しい!」という気持ちが沸き上がり技術士試験に49歳で挑戦、仕事と両立しながら猛勉強し技術士の資格を取得しました。協力してくれた家内と早朝、合格発表をパソコンで見て喜んだことを思い出します。

趣味は、ジョギング、ワカサギ釣り、おじさんバンド。昨年の旭川ハーフマラソン大会では1時間50分で完走、ワカサギ釣りは砂川オアシスパークで600匹を釣りました。また、おじさんバンドでは、ドラムを担当しベンチャーズやディスコ、歌謡曲など年数回のライブを行い、その後の音楽仲間との打ち上げを楽しんでいます。

私の平成時代は技術者として限りなく成長し充実した時代であったと感じています。これからの令和時代は若い技術者の育成、特に技術士取得に向けた取組に貢献できたらと考えております。

## 佐藤 勉 (さとう つとむ)

●建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

### 勤務先

株式会社及川土木設計



→次号は、藤島義知さん(農業部門)